



**新技術概要説明情報**

「概要」「従来技術との比較」等のタブをクリックすることでそれぞれの内容を閲覧することができます。関連する情報がある場合は画面の上部にあるリンクをクリックすることができます。

<a href="#">ものづくり 日本大賞</a>	<a href="#">国土技術 開発賞</a>	<a href="#">建設技術 審査証明 ※</a>	他機関の 評価結果

2017.07.31 現在

ページ印刷用表示

一括印刷用表示

<b>技術 名称</b>	転圧アシスト機構搭載 前後進コンパクタ			<a href="#">事後評価未実施技術</a>	<b>登録 No.</b>	<a href="#">TH-120015-A</a>
<b>事前審査</b>	<b>事後評価</b>		<b>技術の位置付け(有用な新技術)</b>			
	試行実証評価	活用効果評価	推奨 技術	準推奨 技術	評価促進 技術	活用促進 技術
			旧実施要領における技術の位置付け			
			活用促進 技術(旧)	設計比較 対象技術	少実績 優良技術	
	<b>活用効果調査入力様式</b>		<b>適用期間等</b>			
-A 活用効果調査入力システム を使用してください。		-				

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。申請情報の最終更新年月日:2014.05.19

[概要](#) | [従来技術との比較](#) | [特許・審査証明](#) | [単価・施工方法](#) | [問合せ先・その他](#) | [詳細説明資料](#)

<b>副 題</b>	転圧作業中の締固め具合の『見える化』機構を搭載した前後進コンパクタ	<b>区分</b>	機械
<b>分類1</b>	道路維持修繕工 - 路面補修工 - 欠損部補修工		
<b>分類2</b>	舗装工 - アスファルト舗装工 - アスファルト舗装工 - 歩道舗装工		
<b>分類3</b>	土工 - 土工 - 締固め工		

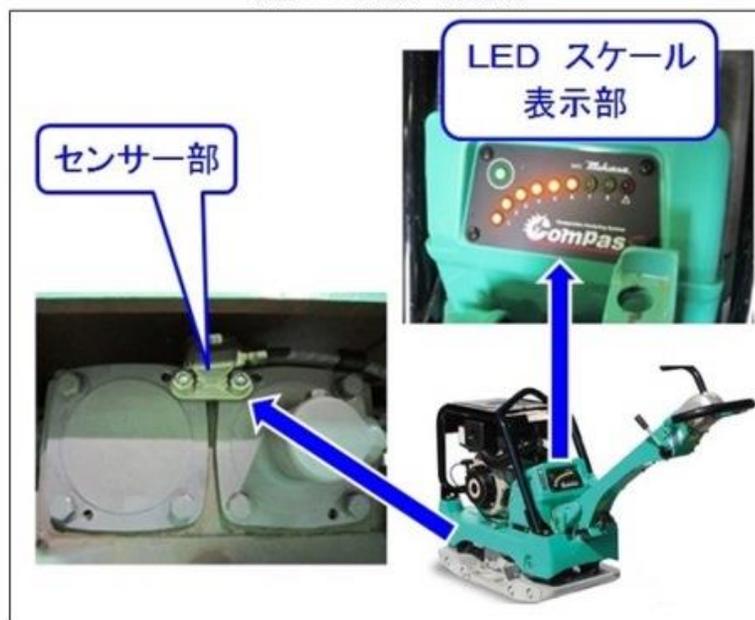
**概要**

- ①何について何をする技術なのか?  
・転圧作業中に加速度センサーで検知した加速度を LED スケールでリアルタイムに締固め具合に変換して表示し、締固めのムラを低減し経験の浅い作業員でも熟練者と同等の締固め作業を可能とした。
- ②従来はどのような技術で対応していたのか?  
・従来技術：締固め具合の表示機構の無い振動コンパクタ(前後進型)
- ③公共工事のどこに適用できるのか?  
・地盤の締め固めが必要な工事
- ④その他  
・転圧アシスト機構は地盤剛性値の絶対値を表示するものではありません。

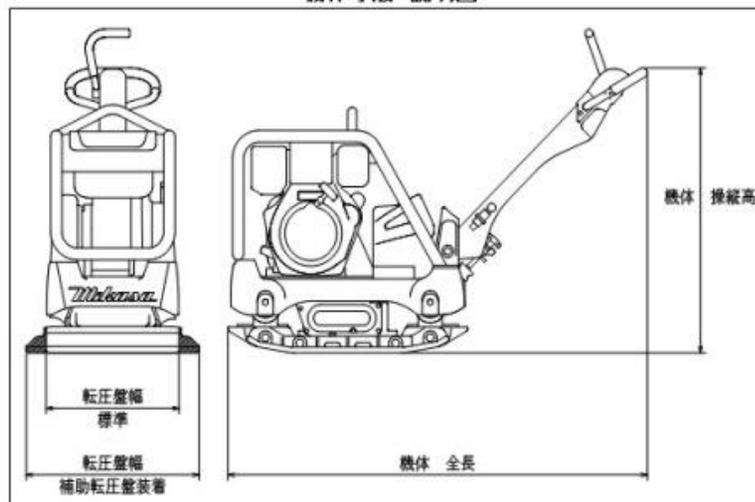
⑤バリエーション

- ・LED スケールの表示を見易くした機種もあり。
- ・機械質量 525kg の機種もあり。

転圧アシスト機構 機器構成



機体寸法 説明図



初期型 機種			
機械の名称		振動コンパクト(前後進型)	
機械の規格		質量 330 kg	質量 440 kg
ディーゼル式			
機械質量	標準 仕様	330 (kg)	410 (kg)
	補助転圧盤 装着時	347 (kg)	427 (kg)
機体全長		1570 (mm)	1610 (mm)
機体操縦高		1120 (mm)	930 (mm)
転圧盤幅	標準 仕様	445 (mm)	500 (mm)
	補助転圧盤 装着時	600 (mm)	650 (mm)

LEDスケール 視認性向上型				
機械の名称		振動コンパクト(前後進型)		
機械の規格		質量 330 kg	質量 440 kg	—
ディーゼル式				
機械質量	標準 仕様	341 (kg)	407 (kg)	525 (kg)
	補助転圧盤 装着時	356 (kg)	422 (kg)	540 (kg)
機体全長		1540 (mm)	1570 (mm)	1600 (mm)
機体操縦高		1030 (mm)	1030 (mm)	1070 (mm)
転圧盤幅	標準 仕様	445 (mm)	500 (mm)	650 (mm)
	補助転圧盤 装着時	600 (mm)	650 (mm)	800 (mm)

転圧アシスト機構搭載 前後進コンパクト仕様

新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

- ・転圧加速度センサーで検知した締固め具合に応じて LED スケールがリアルタイムに点灯し、転圧作業中の締固め具合の目安を確認可能とした。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

・LED スケールの表示を締固め具合の目安にして転圧作業が行えるので、締固めのムラを低減し経験の浅い作業者でも熟練者と同等の締固めの仕上がりが期待できる。

### 適用条件

①自然条件

・特に無し

②現場条件

・特に無し

③技術提供可能地域

・技術提供地域については制限無し。

④関係法令等

・特に無し。

### 適用範囲

①適用可能な範囲

・締固め工事

②特に効果の高い適用範囲

・大型の締固め機械が作業不可能な箇所  
・道路端部

③適用できない範囲

・急傾斜地

④適用にあたり、関係する基準およびその引用元

・地盤調査の方法と解説:P508 載荷試験  
・舗装施工便覧(H18 年版):P65 4-3-3 敷きならし機械

### 留意事項

①設計時

・特に無し。

②施工時

・予め、締固め完了の目標となる LED スケールの点灯数を現場状況に応じて設定して下さい。  
・転圧アシスト機構の表示は地盤剛性の絶対値を表すものではありません。

③維持管理等

・転圧アシスト機構は、メンテナンスを必要としません。

④その他

・特に無し。

このシステムは Internet Explorer の文字サイズ「小」で開発しております。

[プライバシーポリシー](#) /

[著作権等について](#)